



阿武クマさん

質問受付中!

原遺跡第7・8次調査の速報展!開催中!

第43回文化財企画展は原遺跡の速報展です。せっかくですから8次

調査で発見された「**円面硯**」について紹介します。



8次調査で発掘された「円面硯」

実物展示中!!



石でつくられた硯を**石硯**、焼き物の硯を**陶硯**と言う。
日本では陶硯が多い。



復元された円面硯

太田昭夫 氏

円面硯は焼き物の硯です。私たちが使用している長方形の硯とは違い、丸い形をしていることから、そのように呼ばれています。上の平な所に墨をためて使います。当時、字を書くことができた役人などが使用していたと考えられます。

古代の硯の種類

円面硯



墨を入れる所が丸いのが特徴

風字硯



形が「風」という漢字に似ていることからこの名がついた。

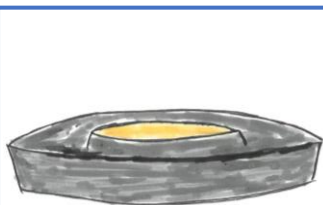
形象硯



羊などの動物をかたどった硯。

円面硯は脚があるかないかなど、形によってさらにわけることができます。

無脚硯



脚がない丸い硯。

獣脚硯



獣の脚の形をした硯。

蹄脚硯



三角形で馬の爪(ひづめ)に似た脚を持つ。

圈足硯



輪状の脚でたくさん空間がある。

原遺跡で出土している円面硯は**圈足硯**です。中でも第1次調査で発見された円面硯は、大きさ・

装飾の点からも役所施設が置かれた時期を考えるうえで、とても重要な資料です。